

ブルガリア共和国 (Republic of Bulgaria)

- ●ブルガリアの援助総額は2011年度までに累計916.72億円。
- 支援を開始した当初は、市場経済化、環境保全、農業振興及び経済 社会インフラ整備を中心に支援。ブルガリアの2007年のEU加盟後か ら支援を終了する2011年までは、保健・医療、社会福祉及び初等教育 分野を中心に支援。



国概要

•	面積:11.09万平方キロメートル(日本の約3分の1)
---	-----------------------------

- 人口:723万人(2015年,世銀)
- 首都:ソフィア
- 民族:ブルガリア人(約85%),トルコ系(9%),ロマ(推定約5%)等

(基礎データ)

- 言語:ブルガリア語
- 宗教:大多数がブルガリア正教。他に回教徒,少数のカトリック教徒,新教徒等。
- 政体:共和制
- 議会:一院制(240名)
- GDP:557億ドル(2014年, 世銀)
- 一人あたりGDP:7,713ドル(2014年, 世銀)
- 経済成長率:1.7%(2014年,世銀)
- 失業率:12.9%(2014年,世銀)
- ※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

		(略史)
	681年	第一次ブルガリア王国成立(~1018年)
	1185年	第二次ブルガリア王国成立(~1396年)
1	1396年	オスマン帝国による占領(~1878年)
	1879年	第三次ブルガリア王国成立(~1944年)
	1944年	共産主義政権成立
	1946年	ブルガリア人民共和国成立
	1989年	共産党独裁体制終焉
	1991年	民主的な新憲法採択
	2004年	NATO加盟
	2007年	EU加盟

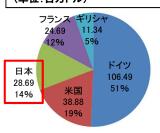
援助実績

スキーム	額(累計)/人数(延べ)
円借款	770.06億円 (2011年度末時点)
無償資金協力	33.99億円 (2011年度末時点)
技術協力 112.67億円 (2011年度末時	
青年海外協力隊	延べ253人

出典:ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末) (注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

ブルガリアへの主要ODA供与国 (2004年実績, 出典:OECD/DAC) (単位:百万ドル)



経済関係

スキーム	金額/人数(直近年)
日本からブルガリアへの輸出	80億円 (2015年度, 財務省)
ブルガリアから日本への輸出	125億円 (2015年度, 財務省)
日本からブルガリアへの直接 投資	15.1百万ユ―ロ (2015年, ブルガリア中央銀行)
在ブルガリア日系企業数	32社 (2015年, 外務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ブルガリアにおける在留邦人数	127人 (2015年, 外務省)
在日ブルガリア人数	575人 (2015年, 外務省)
日本からブルガリアへの留学生数	東海大学, 福山大学, 創価大学 等との交流あり
ブルガリアから日本への留学生数	99名 (2015年, JASSO)
日本からブルガリアへの観光客数	17,641人 (2013年 JNTO)

日本とブルガリア共和国との協力年表

年代	案件	
1959年	日ブルガリア国交再開	
1970年	通商航海条約締結	
1975年	文化取極締結 初の円借款案件「ソフィアホテル建設計画」(供 与限度額:48.32億円)	
1978年	科学技術協力取極締結	
1991年	租税条約締結	
1992年	青年海外協力隊派遣取極締結	
1997年	ストヤノフ大統領が国賓として来日した際、初の経済インフラ分野における円借款案件「ブルガス港拡張計画」E/N署名	L
2002年2月	円借款「ソフィア地下鉄拡張計画」(供与限度額: 128.94億円)	Γ
2007年	麻生外務大臣がブルガリアを訪問 文化遺産無償東ロドピ山トラキア美術博物館センター建設計画(ブルガリアに対する文化無償としては最大の3.4億円)E/N署名	1
2008年3月	円借款「ヴァルナ港及びブルガス港コンテナター ミナル整備計画」(供与限度額:369.32億円)	
2009年	外交関係再開50周年	
2009年	パルヴァノフ大統領訪日	
2011年1月	ボリソフ・ブルガリア首相訪日	

ブルガリア東南の黒海沿岸に位置するブルガス表 中に位置するブルガス表 この協力では、ブルガス 港において、新規防液堤 の建設、石炭・鉱石・クリンカー用のバルケ貨物 カーミナルの整備、船領 進入航路の浚渫を支援。



この協力では、地下鉄1号線の新規建設区間のうち第7駅から第9駅までの約2.1キロメートルの区間の建設を支援。



麻生外務大臣がブルガリアを訪問し、日ブルガリア 外相会談を実施。



2005年度草の根文化無償でブルガリア相撲連盟に供与された土俵等の贈呈式に出席。



2009年パルヴァノフ大統領夫妻が訪日。

